

剣まつり



「初めてこのお祭りを見た時は、怖かったわよ。暗闇の中を、大きな剣をもった白装束の集団がくるじやない。何事かとおもったわ」と言っつのは、習志野警察署近くの人。鷺沼に長くいても、この「剣まつり」について、何も知らない人がたくさんいます。しかも、奇祭と言われていられるお祭りです。そこで、好奇心にかられた鷺沼小学校の「学校おはなし会」のメンバー4人がこの奇祭取材することにしました。

まず、2018年、19年の二度の「剣まつり」についてまわりました。

このお祭りは、徳川四代將軍の頃に建てられた鷺沼の八剣（やつるぎ）神社の大祭「剣」で、無病息災、疫病退散を祈願する行事です。毎年3月最初の土曜日に開催されます。

大きな剣をもった剣士たちが一軒一軒、「悪事災難のがれるように」と大きな声で氏子の家をまわり、村境にくと、「やー、やー」と剣で気合をいれる「辻切り」をします。村を一周するのでから夜の十時過ぎまでの一日がかりです。とても体力が必要です。

でも大丈夫。この「剣まつり」で一日、村を駆け巡る剣士たちは、少年なのです。穢れの無い少年が、神のお使いなのです。

各辻切りのあとには、そのつど、「お宿」と言われる休憩所が用意されています。少年剣士たちは、そのお宿のお座敷でもてなされます。そのごちそうときたら、お寿司、すき焼き、ピザ、ケーキ・・・

一方、少年剣士たちを誘導指揮する氏子のおじさんたち年配者は、庭に用意されたテントでお茶とおかしでひとやすみ。代々剣士をつとめてきた人たちですから、むかし話に花が咲きます。そこで、いろいろなエピソードを聞くことができました。

こうして「剣まつり」の一日を、剣士を主役にして、文章にしました。合言葉は「紙芝居なんて子どももの、などとバカにされないよう、大人の鑑



賞に耐えられるものを作ろう」

絵はメンバーの一人が一手に引き受けてくれました。じっくりと時には何度も描き直し、描いてくれました。

そして、いい絵！ができました。仲間うちのことをほめるのは、おかしいかもしれないですが、絵が好きでしかも、神社が好きで、ちょうど水彩教室にはいった時に、この「剣まつり」の紙芝居の話聞いたので、「神のお告げか」と思ってしまった、という人だったのです。

この素朴な『剣まつり』は、鷺沼の宝でもあり、習志野市の、千葉県の宝ものでもある、と、今や四人のメンバーは確信し、多くの方に知ってもらうことを願っています。

紙芝居の出前・貸し出しをします。ご希望の方は、ご一報ください。

木村友子、高橋恭子、
館田 希、岩城昌子

(連絡先：岩城昌子)

TEL / FAX 047-452-7417

マモル歯科医院

診療時間 月・水・金 午前 9:00~11:00
午後 3:00~7:00
火・土 午前 9:00~11:00
午後 3:00~6:00
休診日 毎週木曜・日曜・祭日



〒275-0026 習志野市市谷津7丁目12-1
TEL 047-472-8141

“電気のことなら何でもご相談ください”

イーエム電設株式会社

〒275-0015 習志野市鷺沼台4-9-1
TEL 047-474-5680
FAX 047-474-5682

加来真名子税理士事務所

〒272-0035
市川市新田5丁目9番22号
ドミール瑞来301号室
TEL 047-324-0701 FAX 047-324-0697